

「持続可能な循環型社会の構築に向けた研究会」の進捗について

I 今年度の取組状況

第1回研究会(8月17日)

本市のこれまでのエネルギー政策を振り返り、その後、各委員から、重点検討項目(案)の提案を受けた。

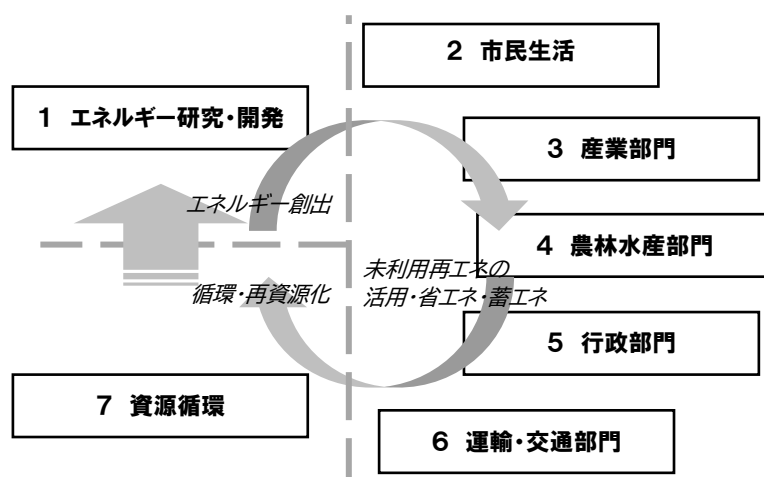
第2回研究会(11月11日)

長岡市として取り組むプロジェクトを7分野に分類。プロジェクトとして追加すべき事業、課題に対する解決策、優先順位等について活発な議論が交わされた。

第3回研究会(1月18日)

プロジェクト候補のうち重点的・優先的に取り組む事業の基本的な考え方(案)を議論する。

研究会のテーマ:今踏み出す一歩が、
2050年の当たり前の日常に



II 分野別プロジェクトの取組に向けた基本的な考え方について

脱炭素に向けて、分野別プロジェクトを進めるにあたり、実現性を考慮した上で重点的・優先的に取り組む事業の基本的な考え方(案)を次のとおり示す。

- 市民生活をさらに豊かにするもの
 - ・環境と経済の好循環を生み出すもの
 - ・快適な生活・作業空間を創出するもの
 - ・防災機能を強化するもの
- 地域産業のイノベーションにつながるもの
 - ・新しい産業を生み出し、地域産業のエネルギー分野への参画を促進するもの
- 脱炭素に向けて効果的なもの
 - ・長岡において高い効果が得られるもの
(省エネ・再生可能エネルギー創出・資源循環)